

「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」に関するアンケート調査  
～ご協力のお願い～

2013年10月

調査主体：北九州市環境局環境未来都市推進室  
実施機関：株式会社日本総合研究所総合研究部門

貴下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

北九州市は、東日本大震災を契機とした電力不足・電力値上げの問題を受け、市民生活・産業活動といった地域を支える観点から、低炭素・安定・安価なエネルギーの供給についても市として一定の責任を持ち、本市の新成長戦略の主要プロジェクトとして「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」に取り組むこととしました。（添付パンフレット参照）

このたび、本市の産業活動を担っておられる市内企業の皆様に、上記事業により実現を目指す低炭素・安定・安価なエネルギーに関する御意向等を伺いたく、アンケート調査を実施させていただくことといたしました。

本アンケートは、市内企業を対象に

- 市内企業に低炭素・安定・安価な電力を供給するための「地域エネルギー会社」（P3を参照ください）が設立された場合、そこから電気を購入する意向はあるか
  - 「エネルギーマネジメント」（電力不足が懸念されるピーク時間帯に、企業側として工夫して節電に協力し、その対価（報償）を得る仕組み）が構築された場合、その仕組みに参加する意向はあるか
- などを調査するものです。

本アンケート結果を参考に、市内企業の関心度合いを整理し、「地域エネルギー会社」の事業スキームの構築を検討していく予定です。

なお、この事業スキームは現在、検討段階であり、本アンケートの結果が、直ちに低炭素・安定・安価な電力供給を保証することにはなりませんので、その点についてはご了承ください。

何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

- ご回答頂きました調査票は、2013年10月31日（木）までに、同添の返信用封筒にて投函頂くか、北九州市環境局環境未来都市推進室宛て FAX（093-582-2196）にて送信頂きますよう、お願い申し上げます。
- ご回答頂きました情報は、本調査の委託機関である株式会社日本総合研究所が集計して統計処理を行います。なお、分析結果を公表させて頂くことはありますが、個別のデータは一切公表せず、また他の用途にも流用することはありません。

【本調査の趣旨に関するお問い合わせ】

北九州市環境局環境未来都市推進室 担当：首藤 礼、大庭 繁樹  
 〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区城内 1-1 TEL:093-582-2238 FAX:093-582-2196  
 Email: aya\_shutou01@city.kitakyushu.lg.jp

【アンケートの回答・返送その他に関するお問い合わせ】

株式会社日本総合研究所 担当：大川 理一郎、大島 裕司  
 〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-18-1 TEL:03-6833-1028 FAX:03-6833-9480  
 Email: okawa.riichiro@jri.co.jp

◆ご回答下さる方について、下欄にご記入下さい。

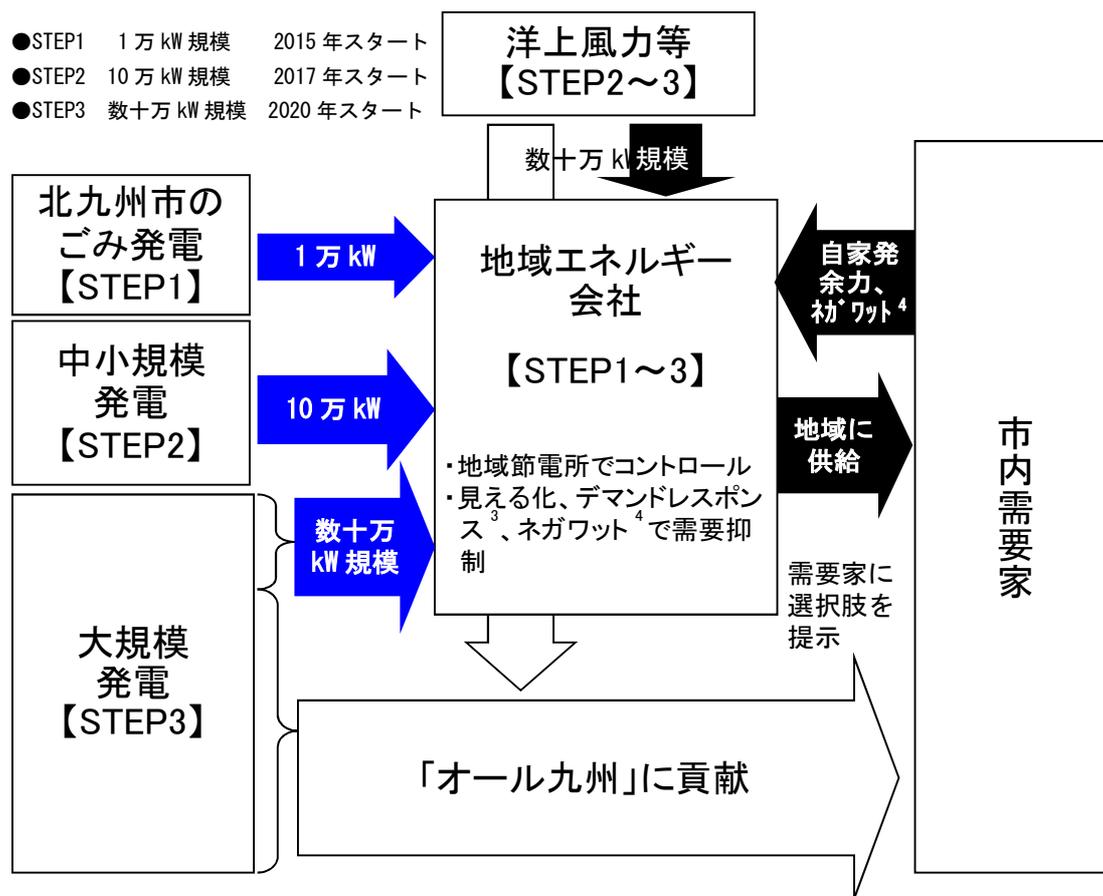
貴社名・ 事業所名 または工場名			
御氏名			
所属部署・役職			
住所			
電話番号			
FAX 番号			
Email			
省エネ法上の エネルギー管理 指定工場 (該当欄に○)	エネルギー管理 指定工場である	エネルギー管理 指定工場ではない	不明

◆貴事業所のプロフィールについて、下欄にご記入下さい。(最新の状況でご記入下さい)

貴社名・事業所名 または工場名		
業種 (主たる事業1つに○) ※日本標準産業分類 に基づく	1. 食料品製造業 2. 飲料・たばこ・飼料製造業 3. 繊維工業 4. 木材・木製品製造業(除家具) 5. 家具・装備品製造業 6. パルプ・紙・紙加工品製造業 7. 印刷・同関連業 8. 化学工業 9. 石油製品・石炭製品製造業 10. プラスチック製品製造業 11. ゴム製品 製造業 12. なめし革・同製品・毛皮製造業 13. 窯業・土石製品製造業 14. 鉄鋼業	15. 非鉄金属製造業 16. 金属製品製造業 17. はん用機械器具製造業 18. 生産用機械器具製造業 19. 業務用機械器具製造業 20. 電子部品・デバイス・電子回路製造業 21. 電気機械器具製造業 22. 情報通信機械器具製造業 23. 輸送用機械器具製造業 24. 精密機械器具製造業 25. 廃棄物処理業 26. 情報通信業 27. その他( )
資本金[万円] (貴社全体)		
売上高[万円] (事業所単位)		
従業員数[人] (事業所単位)		
延床面積[m <sup>2</sup> ] (事業所単位)		

<参考>本市が検討している「地域エネルギー会社」の事業スキームのイメージ

- 「地域エネルギー会社」は、市内需要家に対して、低炭素・安定・安価な電力を供給する。
- 「地域エネルギー会社」は、市内需要家に対して、電力不足が懸念されるピーク時間帯に、節電要請（ピークシフト<sup>1</sup>やピークカット<sup>2</sup>など）し、企業側が工夫して節電に協力できれば、その対価（報償）を得るといふ、企業側にメリットが生じるような電力契約メニューを設ける。
- あわせて、電力不足時に、企業の自家発電の余剰電力を「地域エネルギー会社」が購入するというような電力契約メニューを設ける。
- 市は洋上風力発電、中小規模火力発電、大規模火力発電の立地を促進し、「地域エネルギー会社」は、それら低炭素・安定・安価な電力を調達する。
- これら事業スキームは現在検討段階だが、スキーム構築ができた場合、「地域エネルギー会社」から電気を購入する市内需要家は、
  - ・ 安い電気を購入できる
  - ・ 賢い電気の使い方ができる（節電により結果的に電力使用量が減り電気料金に反映されるだけでなく対価（報酬）を得られる）
 などのメリットが出ることが考えられる。



<sup>1</sup> ピークシフト: 電力を消費する時間帯をずらして、電力需要ピーク時における電力消費を抑えること。

<sup>2</sup> ピークカット: 電力需要のピークにあたる時間帯の電力消費を低くおさえること。

<sup>3</sup> デマンドレスポンス: 需要家が需要量を変動させて電力の需給バランスを一致させること。

<sup>4</sup> ネガワット: 企業や家庭が節約した電力について、同量を発電したとみなし、電力会社が買い取る制度。

## 低炭素・安定・安価な電力の購入意向 1

### 【設問 1】

市内企業に低炭素・安定・安価な電力を供給するための「地域エネルギー会社」が設立された場合、その「地域エネルギー会社」が貴事業所の現行の電気料金よりも安く電力を供給できるとしたら、「地域エネルギー会社」から電力を購入したいと思いますか？

下の当てはまる番号 1つ に○を付けて下さい。

1. ぜひ購入を検討したい
2. 条件によっては購入を検討したい
3. 購入しない

## 「地域エネルギー会社」からの電力購入に対する懸念

### 【設問 2】

「地域エネルギー会社」から電力を購入することにどのような懸念がありますか？

下の最も当てはまる番号 2つ に○を付けて下さい。

（【設問 1】で「3. 購入しない」と回答された方は、その理由としてご回答ください。）

※「地域エネルギー会社」が供給する電力の安定供給・品質は、現状と変わりません。

「地域エネルギー会社」の発電設備が事故等で供給できない又は、不足電力が生じた場合でも、電力会社が不足電力分を供給するバックアップ体制は構築されます。

したがって、「地域エネルギー会社」から電力を購入しても現状と変わらない電力が安定供給されます。

1. 地域エネルギー会社の経営が安定しないのではないか
2. 地域エネルギー会社の電力価格は変動しやすいのではないか
3. 送配電を託送<sup>5</sup>に頼ると結果的に価格は高くつくのではないか
4. 調達先を変えると他地域の事業所への供給契約に影響が出るのではないか
5. 停電が増えるのではないか
6. 新たな設備投資などが必要となるのではないか
7. 契約の変更や更新が煩わしいのではないか
8. CO2 の排出量が増えてしまう（排出係数が悪くなる）のではないか
9. 一般電気事業者<sup>6</sup>より安価な電力価格が将来的に続かないのではないか
10. その他（ ）

**\* 【設問 1】で「3. 購入しない」と回答いただいた方は、アンケートは以上です。  
ご協力ありがとうございました。**

【設問 1】で「1. 購入を検討したい」「2. 条件によっては購入を検討したい」と回答された方は次頁の【設問 3】以降についてもご回答ください。

<sup>5</sup> 託送：一般電気事業者（下参照）が所有する送配電網を、発電事業者や他の電力小売り事業者が利用すること。

<sup>6</sup> 一般電気事業者：九州電力など、一般の需要に応じ電気を供給する事業について経済産業大臣の許可を受けた事業者。

## 低炭素・安定・安価な電力の購入意向2

### 【設問3】

「地域エネルギー会社」の電力が、貴事業所の現行料金より、どのくらい安価であれば、購入をご検討いただけますか？

下の当てはまる番号 **1つ** に○を付けて下さい。

1. 現行より少なくとも1%でも安価であれば、購入を検討する
2. 現行より少なくとも2%程度安価であれば、購入を検討する
3. 現行より少なくとも3%程度安価であれば、購入を検討する
4. 現行より少なくとも5%程度安価であれば、購入を検討する
5. 現行より少なくとも10%程度以上安価であれば、購入を検討する



## 自家発電設備の電力融通に対する参加意向

### 【設問6】

自家発電設備を導入している方にご質問します。

「地域エネルギー会社」では、自家発電の電力を買い上げ、活用することも検討しています。自家発電の電力を「地域エネルギー会社」に供給したいと思いませんか？

自家発電電力の買取価格についても、今後検討していく予定です。

下の当てはまる番号 **1つ** に○を付けて下さい。

また、1. の場合、その規模感が分かれば合わせて記入ください。

- |  |
|--|
| 1. 供給を検討したい (                      kW程度) |
| 2. 供給できない                                |

◆ 貴事業所の自家発電について下欄にご記入下さい。

発電能力		kW
昨年1年間の発電量		kWh

## エネルギー需要・調達状況

「地域エネルギー会社」を通じて供給される電力の価格設定やサービスを検討する際の参考とさせて頂くため、貴事業所のエネルギー需要・調達状況についてお伺い致します。

### 【設問7】

貴事業所の電力購入・電力使用状況について、調達先ごとに下欄にご記入下さい。

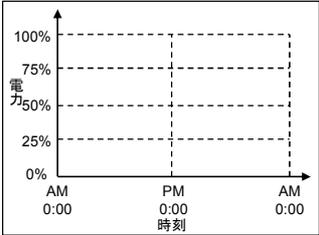
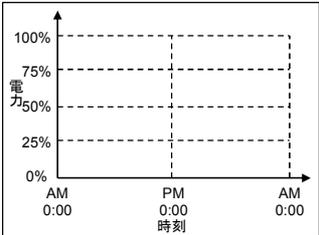
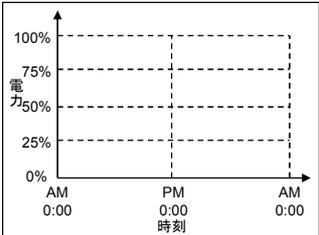
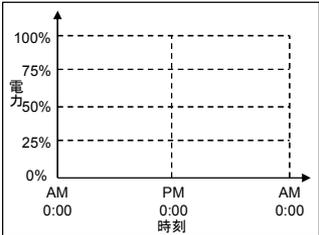
※電力会社との守秘義務がある場合には、可能な範囲でご記入ください。

電力調達先 九州電力以外は（ ）に企業名 を記入下さい	九州電力	九州電力以外 （ ）
現在の契約電力	kW	kW
現在の契約メニュー 名称を記入下さい		
年間電力使用量 (平成24年度)	kWh	kWh
年間電気料金 (基本料金含む) (平成24年度)	円	円

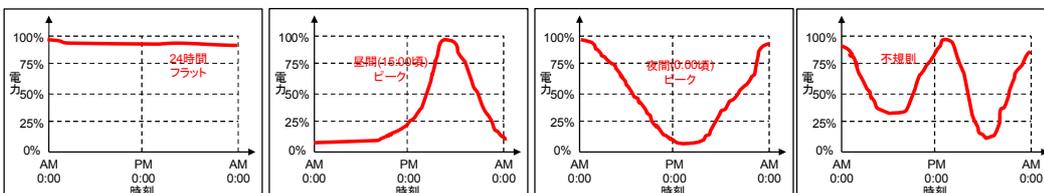
**【設問 8】**

貴事業所における季節毎の1日の電気の使い方について、下欄にご記入下さい。

※表右欄の図には、季節毎の1日の電気の使い方（電力カーブ）を、下の記入例を参考に分かる範囲で結構ですので、フリーハンドでお書き下さい。

	1日の電力消費トレンド (当てはまる番号1つに○)	1日の電気の使い方※ (電力カーブ)
春季	1. ピークが昼間に来ることが多い 2. ピークが夜間に来ることが多い 3. 24時間ほぼ一定で特にピークはない 4. 24時間不規則に変動する 5. わからない 6. その他 ( )	
夏季	1. ピークが昼間に来ることが多い 2. ピークが夜間に来ることが多い 3. 24時間ほぼ一定で特にピークはない 4. 24時間不規則に変動する 5. わからない 6. その他 ( )	
秋季	1. ピークが昼間に来ることが多い 2. ピークが夜間に来ることが多い 3. 24時間ほぼ一定で特にピークはない 4. 24時間不規則に変動する 5. わからない 6. その他 ( )	
冬季	1. ピークが昼間に来ることが多い 2. ピークが夜間に来ることが多い 3. 24時間ほぼ一定で特にピークはない 4. 24時間不規則に変動する 5. わからない 6. その他 ( )	

<図の記入例>



## 自由意見

### 【設問 9】

本市が取り組む「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」に関し、ご意見・ニーズ・ご質問等がございましたら、ご自由に記述下さい。

### 【設問 10】

本アンケート調査を踏まえ、貴事業所にヒアリング調査のお願いをさせて頂くことがあります。ご快諾頂けますでしょうか？

以下の YES/NO のいずれかに○を付けて下さい。

YES

NO

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。